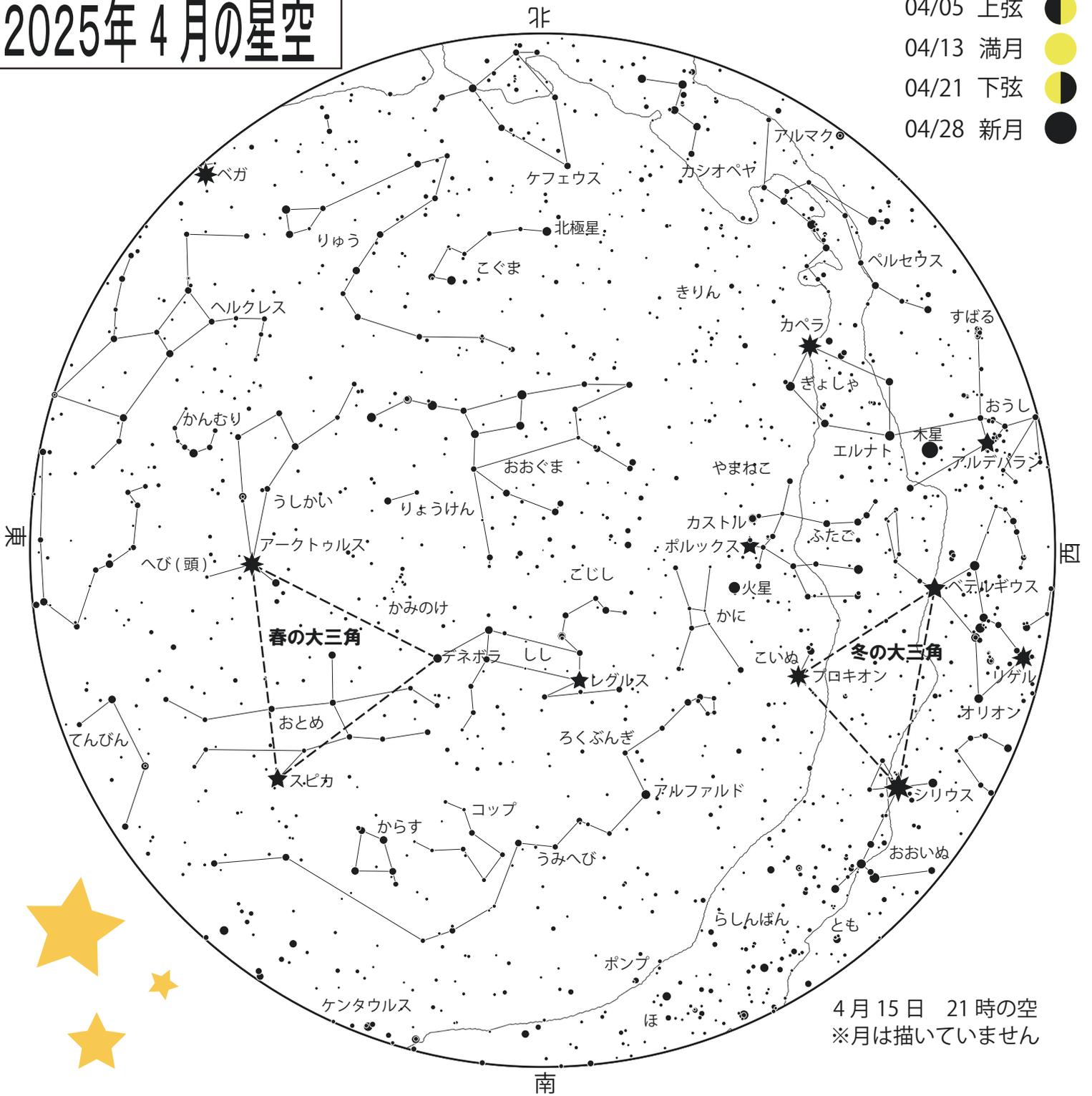


姫路で見る 2025年4月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 04/05 上弦 
- 04/13 満月 
- 04/21 下弦 
- 04/28 新月 



4月15日 21時の空
※月は描いていません

4月、春霞の言葉どおり、晴れていても曇っているような季節になりました。春本番の到来です。しかし、西の空にはまだ冬の星座が残っています。**オリオン座の赤いベテルギウス、おおいぬ座の白いシリウス、こいぬ座の黄白色のプロキオン**を結ぶ「**冬の大三角**」は西の空を彩っています。その北寄りにある**ふたご座**は、黄色の**ポルックス**と白い**カストル**が目印です。その南には春の星座の**かに座**があり、**プレセペ星団**がシンボルです。更に南の**しし座**は、心臓の**レグルス**、「？」を逆さまにしたような頭、四角い体でライオンの形です。北の空では**おおぐま座**の「**北斗七星**」が目立っています。ひしゃくの器の先を伸ばすと、北の目印となる**北極星**が見つかります。持ち手を伸ばすと、**うしかい座**の**アークトゥルス**や**おとめ座**の**スピカ**を見つけることができます。このラインが「**春の大曲線**」です。**アークトゥルス・スピカ**としし座の尾にあたる**デネボラ**を結ぶと「**春の大三角**」を描くことができます。**火星**は**ふたご座**を東に移動し、中旬には再び**かに座**に入ります。西の空に明るく目立つ**木星**は、いよいよ見納めです。

冬を乗り越え、生命が咲き誇る春を迎えたことを喜んでるように、春の星座たちは、生き生きした姿を見せてくれます。